

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	介護支援センターながさき デイサービス・ステーションやよい		
○保護者評価実施期間	令和8年2月4日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1人	(回答者数) 1人
○従業者評価実施期間	令和8年2月4日		～ 令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 20 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高齢者施設（通所介護）ということで、子ども達と高齢者とのふれあい。	調理レクや行事、外出イベントなども一緒に行うことで、自然と触れ合える時間を持たせる。	参加へ前向きに出来るような声掛けや内容を取り入れる。
2	充実した機能訓練室で安全に運動をすることができる。	運動を嫌がる傾向にあるので、運動するときは、遊びの要素を盛り込んでいる。	ご家族が行っている運動や遊びを共有しサービスに反映させる。
3	脳トレーニングなどの学習療法の充実。	毎日、A4プリント8枚の脳トレーニングを実施している。計算問題だけでなく、図解などもあり幅広い問題を提供できている。	点数や回答時間などの記録は行っていないので記録ができればさらによいと感じる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高齢者施設ということで、子ども達が十分に活動するスペースがない	歩行不安定な高齢者が歩行しているので、元気がある子ども達への注意喚起が多くなっている。	ハード面の改善は難しいので、機能訓練室や職員とのふれあいなどで対策していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果 (児童発達支援)

事業所名 介護支援センターながさき デイサービス・ステーションやよい

公表日 R8年3月5日

利用児童数

1人

回収数

1人

	チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。		<input type="radio"/>			利用者数に対しての職員数は基準を満たしていますが、どちらともいえないになってしまいました。	職員の配置数に関しましては、人員基準を満たし、問題等ないよう対応していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>					
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		<input type="radio"/>			高齢者施設になりますので、子どもの特性等に応じた専門性のある支援となるとどちらともいえないになってしまいました。	同法人に保育園がありますので、専門性のある支援について検討していきたいと思えます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		<input type="radio"/>				取り入れられる支援内容を取り入れていきたいと思えます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		<input type="radio"/>				できていないこともあるかと思えますので今後取り入れていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。				<input type="radio"/>		同法人に保育園、支援事業所がありますので、検討していきたいと思えます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				<input type="radio"/>		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<input type="radio"/>					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		<input type="radio"/>				保護者が職員として勤務しているため、連携はとれていると感じます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	<input type="radio"/>						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				

公表

事業所における自己評価結果 (児童発達支援)

事業所名		介護支援センターながさき デイサービス・ステーションやよい					公表日	令和8年3月5日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		配置基準には適している。	高齢者施設になりますので、十分なスペースが取れているかは分かりませんが、機能訓練しつなどのスペースを活用しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用者人数に対して最低基準以上の人員配置をしている。	今後も継続していく		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		通路には手摺を設置している。浴室やトイレ等にも適切な設備を整えている。	今後も継続していく		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃などは、毎日行い心地よく過ごせる環境を整えている。	今後も継続していく		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室や静養室などで個別対応している。	今後も継続していく		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼、終礼、月1回の部署会議で検討し意見交換している。	今後も継続していく		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意見を聞く体制は整えている。	今後も継続していく		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼、終礼、月1回の部署会議で検討し意見交換している。	今後も継続していく		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		介護保険での運営指導などは実施されており、また弊社の監査指導室の定期評価は実施している。	今後も継続していく		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、部署内で資質向上のために、研修を実施している。また不定期ではあるが、外部講師を招く社内研修なども予定されている。	今後も継続していく		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ内のブログにて記載している。	今後も継続していく		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		標準的なアセスメントツールを使用し計画書を作成している。	今後も継続していく		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		関わる職員への理解等の向上に努めている。	今後も継続していく		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有し実施している。	今後も継続していく		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準的なアセスメントツールを使用し計画書を作成している。	今後も継続していく		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な支援プログラムを設定している。	今後も継続していく		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月の部署会議等で活動プログラムの見直しを行っている。	今後も継続していく		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月の部署会議等で活動プログラムの見直しを行っている。	今後も継続していく		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団を組み合わせ作成している。	今後も継続していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々の終礼等で話し合いを持ち情報共有している。	今後も継続していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日々の終礼等で話し合いを持ち情報共有している。	今後も継続していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用時にはその日の支援内容の記録を行い、職員間で周知している。	今後も継続していく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングを行い、都度職員間で話し合い、計画の見直しを行っている。必要があれば保護者へ説明を行っている。	今後も継続していく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		ガイドラインに沿って、実施するように支援している。	今後も継続していく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		自立支援と日常生活の支援をするために利用者に合わせた計画をしている。	今後も継続していく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		担当者（相談員）が参加している。	今後も継続していく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現時点では機会が持てていない。今後検討する可能性もある。	人数や日数が少なく取り組めていないが、必要に応じて体制を整える。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	該当児童がいないため、機会は設けていない。	必要があれば今後検討していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	特に取り組んでいない。	継続して行っていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳を使用し情報共有をしている。	必要があれば今後検討していく
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ペアレント・トレーニング等の支援は行っていない。	今後も継続していく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている	今後も継続していく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		意見を伺う機会を作り随時対応している。	今後も継続していく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画書を基に説明を行っている。	今後も継続していく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時対応している。	必要があれば今後検討していく

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後も継続していく
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付担当者や苦情解決責任者などの体制を整備し迅速に対応できるようにしている。	今後も継続していく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の行事や様子をブログ等活用している。	今後も継続していく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分な配慮を行い実施している。	今後も継続していく
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思疎通が図れるように配慮している。	今後も継続していく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		自治会などに参加して、連携を図っている。	今後も継続していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、年間での研修計画を立案、実施している。	今後も継続していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPで必要な研修やマニュアル作成している。	今後も継続していく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		事前にご家族に確認している。	指示があれば対応している。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象者がいない。	今後も継続していく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		防犯対策に関しては、マニュアルの作成し年に1度は研修を行うように計画している。	今後も継続していく
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		家族への連絡帳を作成して対応している。	今後も継続していく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや事故報告書は、回覧し再発防止策を作成している。	今後も継続していく
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の為に、年に2回研修し全員への周知徹底を行っています。	今後も継続していく	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を実施する際は、身体拘束委員会を設置し実施する規定を設けている。		